

【岡山版】DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版 ～ 岡山のインバウンド観光動向 ～

【要旨】

I 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より

・コロナ禍の観光動向

訪日外国人の観光動向は、欧米豪が先行して回復している。海外旅行実施回数は、「1 回以上」と答えた割合は欧米豪の方が高く、海外旅行の検討再開のタイミングも、アジアは「入国条件や入国後の行動制限措置が緩和されたら」と慎重な姿勢が伺えた一方、欧米豪は「すでに検討を始めている」が最多回答となった。「次に海外観光したい国・地域」は昨年に続き「日本」が 1 位。

・岡山の認知度・訪問意欲

「知っている観光地」で「岡山」は 13.6%、「行ってみたい観光地」で「岡山」は 4.1%の選択率となった。

・訪日経験者全体・岡山訪問経験者の比較

訪日回数は、訪日経験者全体では「1 回」が多かったのに対し、岡山訪問経験者は「6 回以上」が約 5 割となっており、岡山訪問者は訪日リピーターが中心である。国・地域割合では、岡山訪問経験者は「台湾」、「香港」の割合が高く、2 地域で 5 割近くを占めた。

「地方観光地を訪れた際にしたいこと」では、「温泉を楽しむ」、「自然観光地を訪れる」が挙がった。また、「地方滞在中に困ったこと」は、アジアでは「多言語表示が少なかったり、わかりにくかった」、欧米豪では「現地ツアーやアクティビティの情報がなかったり、予約が難しかった」の選択率が高い。

・訪日希望者全体・岡山訪問希望者の比較

次の海外旅行の時の「滞在日数」、「旅行予算」は、いずれも「長くなる」、「増える」を選択した割合が高く、旺盛な意欲が伺えた。希望する旅行形態は、訪日希望者全体では「パック旅行」、「セミパック旅行」が多い一方、岡山訪問希望者は「航空券と宿泊施設を個別に手配」が多い。

II 他調査からみる岡山インバウンド戦略への示唆

・2019 年の訪日外国人の入出国空港を県別に比較すると、岡山県を訪れた人が岡山空港を利用している割合は約 3 割、広島県を訪れた人が広島空港を利用している割合は約 1 割、香川県を訪れた人が高松空港を利用している割合は約 6 割であった。訪日外国人旅行者（観光目的・宿泊客）の 1 人 1 回当たり消費額は、岡山県：3.4 万円、広島県：2.1 万円、香川県：5.1 万円と差が大きく、地方空港への直接の入出国割合が、消費額（単価）に影響しているものと推察された。

・2019 年の瀬戸内国際芸術祭期間中に「直島」を訪れた訪日外国人旅行者の動線調査から、約 3 割が岡山県を経由した一方で、入出国に利用した空港は、関西国際空港と高松空港の利用者が全体の半数を占め、岡山空港の利用者はわずか 4%であることが確認された。

・2023 年 3 月の岡山空港の国際線再開を契機とし、2025 年の大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭を見据えて、地域の訴求力のあるコンテンツを岡山でのインバウンド観光に繋げるためにも、岡山エリア限定のプロモーションに留まることなく、広域視点を持って、交通の結節点である岡山、海外からの玄関口としての岡山空港をハブとした、インバウンド戦略に期待したい。

目 次

I 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年版」より

1. 調査の概要.....	1-2
2. コロナ禍の観光動向.....	3-5
3. 岡山の認知度・訪問意欲	6-8
4. 訪日経験者全体・岡山訪問経験者の比較.....	9-12
5. 訪日希望者全体・岡山訪問希望者の比較.....	13-16

II 他調査からみる岡山インバウンド戦略への示唆

1. 訪日外国人客数推移.....	17
2. 宿泊	17
3. 空港	18-19
4. 消費額	20-21
5. 直島の事例（直島を訪れる訪日外国人旅行者実態調査より）	22-23
6. おわりに.....	24

I 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より

1. 調査の概要

(株)日本政策投資銀行（以下「DBJ」）地域調査部及び（公財）日本交通公社（以下「JTBF」）は、共同で「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」（調査期間：2022 年 6 月 21 日～7 月 4 日）を実施した。

同調査は、DBJ 地域調査部が 2012 年より継続的にアジア・欧米豪 12 地域（欧米豪は 2016 年より調査対象に追加）の海外旅行経験者を対象にインターネットによるアンケート調査を実施し、2015 年からは JTBF と共同で調査を行い、以降、毎年、調査及び調査結果のリリースを行っているものである。

本レポートは、同調査のデータより、岡山訪問経験者及び希望者のデータを抽出し、集計・分析したものである。全体の結果については、「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」（2022 年 10 月）をご参照いただきたい。

【概念図】



DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」の調査結果から岡山訪問経験者及び希望者のデータを抽出・分析

【岡山版】DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版
～岡山のインバウンド観光動向～

本アンケートの調査要領は以下のとおりである。

・調査方法

インターネットによる調査

・実施時期

2022 年 6 月 21 日～7 月 4 日

・調査地域

アジア：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア

欧米豪：アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス

(12 か国・地域)

(注) 中国は北京及び上海在住者のみ (割合は北京 50%、上海 50%)

(注) アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスは 2016 年度調査から追加

・調査対象者

20～59 歳の男女、かつ、海外旅行経験者

(注) 中国－香港－マカオ間、マレーシア－シンガポール間、タイ－マレーシア間、
アメリカ－カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア－ニュージーランド間、
イギリス・フランス－欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く

・有効回答者数

上記各地域に居住する住民計 6,307 人

有効回答者のうち訪日経験者数は 2,764 人であり、うち岡山訪問経験者は 131 人である

・協力実査会社

楽天インサイト・グローバル株式会社

※本文中の 2022・・・DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年版とする。

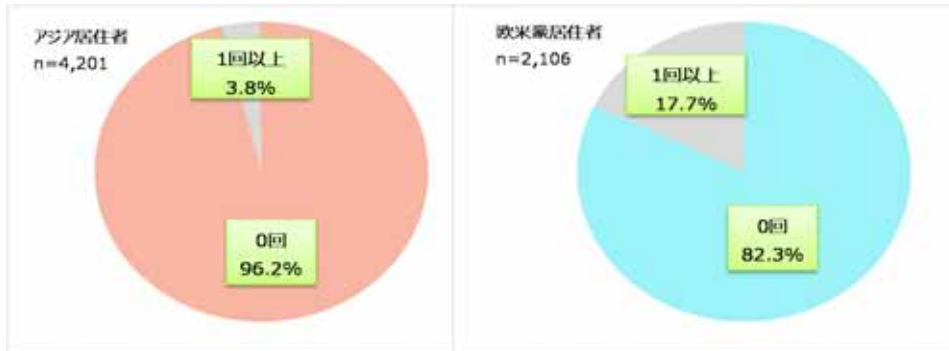
2021 及び 2021 年・・・DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査「第 3 回新型コロナ影響度特別調査」とする。

新型コロナウイルス感染症は以下、「コロナ」という。

2. コロナ禍の観光動向

2021年7月から2022年6月の間の海外旅行実施回数をアジアと欧米豪で比較したところ、1回以上の割合はアジアで3.8%、欧米豪では17.7%と、欧米豪が先行して回復している。

【図表1】2021年7月から2022年6月の間の海外旅行実施回数（アジア・欧米豪居住者）

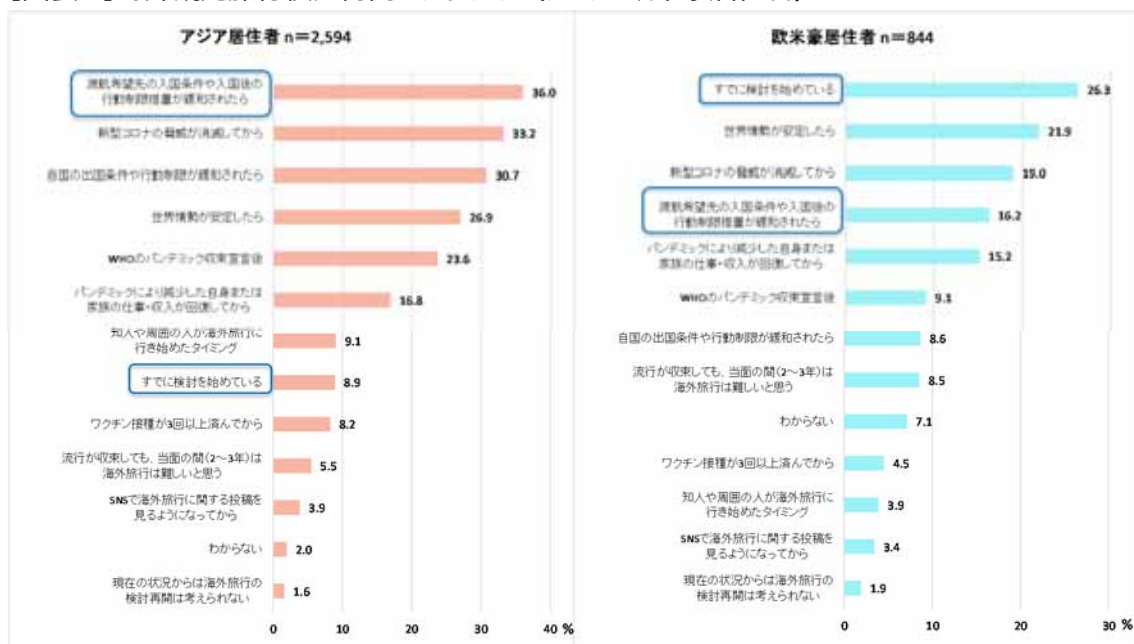


(注) n値：全員

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

海外旅行の検討を再開するタイミングは、アジアでは「渡航希望先の入国条件や入国後の行動制限措置が緩和されたら」など、慎重な姿勢が伺えた一方で、欧米豪では「すでに検討を始めている」の選択率が最も高く、アジアに比べて高いことから検討再開の早さに差がみられた。

【図表2】海外観光旅行検討再開のタイミング（アジア・欧米豪居住者）



(注) n値：2021年7月から2022年6月の間に海外旅行を実施しておらず、かつ、今後の海外旅行実施意向がある人

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

次に観光旅行したい国・地域として、日本は、回答者全体の約 5 割（3,291 人）に選択され次順位の韓国と比べても差をつけている。日本観光を希望している国・地域別に見ると、欧米豪では 3 割程度に留まったものの、香港で 82.9%、台湾で 78.9%など、アジアからは総じて高い評価となっている。一方で、日本は 1 位を維持しているものの、欧米豪を中心に選択率の低下がみられており、コロナ禍を背景とした入国制限の違いなど一時的な要因によるものか、その他の要因によるものか、次年度以降の選択率の変動についても注目したい。

【図表 3】次に観光旅行したい国・地域

(単位：%)

回答者→	全 体		中 国		台 湾		香 港		韓 国		タ イ		インドネシア		マレーシア		シンガポール	
↓旅行したい国	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
n	5,901	6,307	521	543	494	512	491	527	492	517	484	518	492	536	494	527	466	521
日本	57.1	52.2	69.1	63.7	78.5	78.9	83.3	82.9	33.5	34.6	75.8	73.2	69.5	60.1	63.8	59.6	65.5	58.5
韓国	32.2	30.6	38.0	32.4	34.0	41.0	43.2	39.3	—	—	50.6	44.6	44.5	47.2	46.0	46.3	45.3	40.9
オーストラリア	27.2	27.8	25.7	26.5	14.4	16.0	27.9	26.2	27.2	26.5	21.9	19.1	28.5	32.8	34.4	38.5	33.9	33.8
タイ	23.9	24.6	28.0	30.9	21.3	19.5	39.1	41.4	16.7	18.0	—	—	21.7	21.3	—	—	31.1	33.6
ニュージーランド	23.3	22.1	25.9	25.0	21.1	21.1	12.0	11.8	21.7	18.2	22.9	20.8	19.3	15.5	32.6	32.3	34.3	29.8
シンガポール	20.2	20.7	31.5	35.9	19.2	17.0	15.3	18.2	22.2	19.1	22.5	25.5	38.4	33.4	—	—	—	—
アメリカ	20.0	20.5	15.4	14.5	22.5	19.7	9.4	11.4	14.8	16.1	17.8	15.1	16.3	14.7	11.5	12.1	15.2	14.6
スイス	17.9	19.7	18.4	15.5	18.4	19.7	11.0	13.7	25.0	22.8	23.8	26.3	17.3	17.5	21.3	24.3	16.1	22.5
台湾	20.9	19.1	16.1	10.3	—	—	56.8	56.2	17.9	19.5	20.5	20.3	8.1	10.6	34.4	30.9	46.1	38.8
イギリス	17.7	17.9	13.6	12.0	15.4	11.9	20.2	23.9	12.4	15.7	19.4	19.3	18.5	17.9	14.0	14.2	13.9	14.8

回答者→	イギリス		アメリカ		フランス		オーストラリア	
↓旅行したい国	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
n	488	529	497	524	503	527	479	526
日本	37.1	30.8	39.2	30.7	35.0	23.0	35.3	30.4
韓国	11.9	11.9	15.7	12.0	9.9	10.2	15.9	11.2
オーストラリア	28.1	30.4	33.0	29.2	24.5	26.4	—	—
タイ	21.3	17.2	13.5	19.7	26.8	24.9	19.8	19.0
ニュージーランド	25.0	28.9	23.7	22.3	18.1	17.5	—	—
シンガポール	13.3	14.9	10.7	14.7	7.2	8.3	21.1	19.6
アメリカ	33.2	40.6	—	—	38.4	36.4	25.7	29.7
スイス	—	—	16.9	22.3	—	—	11.1	12.5
台湾	6.8	4.9	8.9	7.1	6.6	4.6	9.6	7.4
イギリス	—	—	25.8	27.1	—	—	23.8	22.4

(注) n 値：全員

旅行したい国は 31 の選択肢のうち 5 つまで回答、回答の多い上位 10 国・地域

回答者全体、回答各国・地域の上位 2 国・地域を黄色でぬりつぶしている

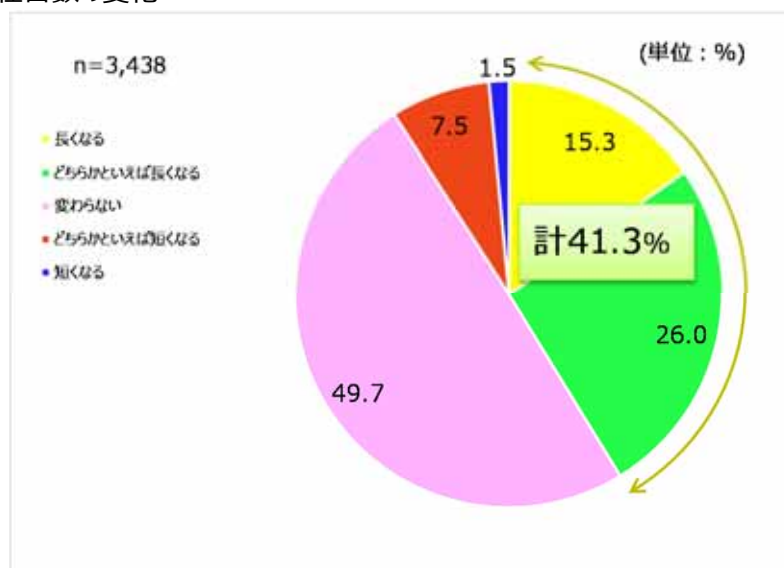
観光したい国・地域と回答者の国・地域が同じ、または近隣の場合、回答はサンプルから除いている

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査「第 3 回新型コロナウイルス影響度特別調査」

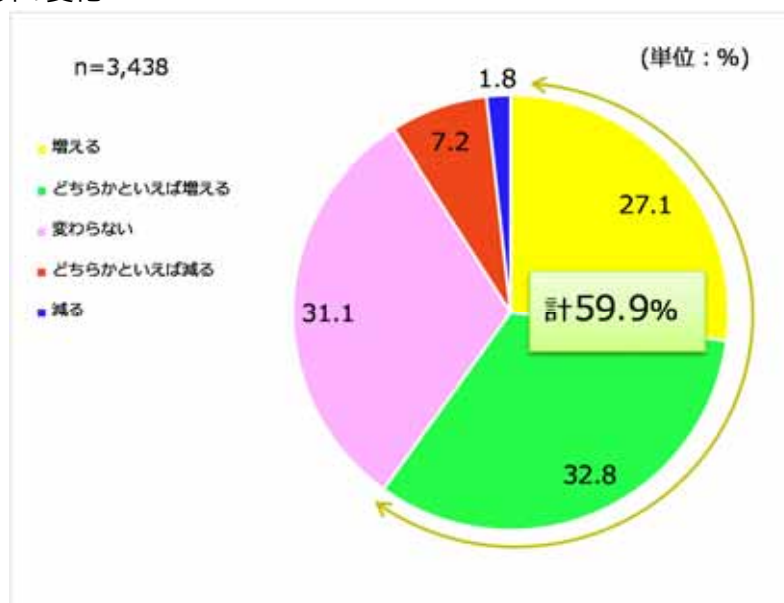
2021 年 7 月から 2022 年 6 月の間に海外旅行を実施しておらず、かつ、今後の海外旅行実施意向がある人に、次の海外観光旅行時の「滞在日数」、「旅行予算」の変化を尋ねたところ、滞在日数では 41.3%の人が「長くなる」、「どちらかといえば長くなる」を選択。予算について 59.9%の人が「増える」、「どちらかといえば増える」を選択している。コロナ禍の行動制限などを背景に、消費意欲が増大している状況が認められる。

【図表 4】滞在日数の変化



出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

【図表 5】予算の変化



(注) n 値：2021 年 7 月から 2022 年 6 月の間に海外旅行を実施しておらず、かつ、今後の海外旅行実施意向がある人

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

3. 岡山の認知度・訪問意欲

岡山の認知度を国・地域別にみると、知っている観光地について「岡山」を選択した人は全体で 13.6%（858 人）。中国地方で首位の広島は 34.9%（2,198 人）に次ぐ選択率となっている。岡山への認知度が高い地域は台湾の 36.5%、香港の 27.1%であった。

観光地の選択肢は 63 カ所を設定しており、うち岡山は 26 番目となった。

【図表 6】認知度

(単位：%)

	全体	アジア全体	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
n	6,307	4,201	543	512	527	517	518	536	527	521	2,106	529	524	527	526
岡山	13.6	16.7	14.5	36.5	27.1	10.8	13.5	13.6	7.0	10.9	7.4	7.0	6.9	6.3	9.5
広島	34.9	37.8	33.5	52.7	42.9	40.2	38.4	35.1	30.7	29.8	28.9	33.1	24.6	26.2	31.6
山口	11.1	13.0	10.5	12.7	16.5	15.7	15.1	14.7	9.7	9.2	7.2	8.1	8.6	4.2	7.8
鳥取	11.2	15.5	10.3	34.2	34.2	24.2	9.1	4.3	2.3	6.5	2.7	2.6	3.8	1.3	3.0
松江／出雲／石見	6.0	7.8	13.3	13.7	15.6	3.9	6.6	3.0	3.0	3.5	2.3	2.1	3.2	1.9	2.1
高松／香川	8.1	10.5	14.0	18.8	19.9	5.8	8.5	7.8	4.0	5.0	3.5	3.4	4.6	2.3	3.6
(参考) 大阪	51.0	62.6	53.6	80.5	75.5	69.6	58.7	50.2	55.6	57.8	27.9	26.3	27.5	23.9	34.0
(参考) 東京	58.0	63.6	51.6	77.9	73.4	69.1	61.4	59.5	58.6	58.3	46.7	51.6	44.1	43.3	47.9

(注) n 値：全員

国・地域別人気上位 2 観光地を黄色でめりつぶしている

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

〈参考〉2021 年調査

(単位：%)

	全体	アジア全体	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
n	6,294	4,189	541	521	520	540	519	518	523	507	2,105	522	530	532	521
岡山	13.6	16.3	14.4	35.5	26.5	9.8	10.2	12.9	9.2	11.8	8.3	7.9	7.5	6.6	11.3
広島	35.8	37.9	36.4	53.7	40.6	39.4	29.9	35.5	34.0	33.5	31.5	31.0	32.5	28.0	34.7
山口	11.1	13.0	10.5	15.5	12.3	15.7	11.4	17.0	12.4	9.1	7.3	8.0	10.9	2.3	7.9
鳥取	10.9	15.0	12.0	32.8	30.2	27.4	5.2	3.5	3.8	4.3	2.9	2.5	3.4	1.7	4.0
松江／出雲／石見	6.1	7.8	15.2	14.4	10.2	4.4	6.2	3.7	5.0	3.2	2.7	2.7	2.6	2.1	3.5
高松／香川	8.4	10.4	13.7	18.8	16.5	6.1	7.3	7.7	6.5	6.3	4.5	4.4	6.2	2.6	4.8
(参考) 大阪	52.4	62.8	54.9	79.1	73.8	64.8	55.5	52.5	59.3	62.5	31.9	27.6	29.2	30.1	40.7
(参考) 東京	60.9	67.5	60.6	77.2	71.7	65.7	63.0	67.2	66.9	67.7	47.8	44.1	50.9	44.0	52.2

(注) n 値：全員

国・地域別人気上位 2 観光地を黄色でめりつぶしている

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査「第 3 回新型コロナ影響度特別調査」

次に、岡山への訪問意欲を国・地域別にみると、実際に行ってみたい観光地について「岡山」を選択した人は全体で 4.1%（236 人）、その内訳をみると、アジアで 4.8%（191 人）、欧米豪で 2.6%（45 人）となっている。観光地の選択肢は 63 カ所を設定しており、うち岡山は 28 番目となった。

分母を「【図表 6】認知度」で岡山を選択した人に置き換えた場合、「岡山を知っている、かつ、行きたい」と選択した人は全体で 27.5%となり、岡山を知っている人の 3 割弱が岡山訪問を希望している。

【図表 7】訪問意欲

(単位：%)

	全体	アジア全体	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
n	5,768	4,017	541	509	522	491	509	490	479	476	1,751	455	444	389	463
岡山	4.1	4.8	3.3	9.6	8.8	1.2	3.5	5.3	1.9	4.0	2.6	1.3	1.8	3.1	4.1
広島	11.0	11.1	9.6	13.9	11.7	5.1	13.6	14.9	9.8	9.9	10.7	13.0	10.8	6.7	11.9
山口	2.8	3.1	2.2	2.9	4.0	2.0	5.1	4.7	1.7	2.1	2.1	2.2	2.5	0.5	2.8
鳥取	3.7	4.6	2.4	8.1	11.3	6.1	2.8	2.4	1.3	2.1	1.5	0.7	3.4	0.3	1.5
松江／出雲／石見	2.1	2.6	3.9	4.9	5.0	0.6	1.8	1.6	0.8	1.5	1.0	0.4	0.9	1.5	1.1
高松／香川	2.7	3.2	3.1	6.1	5.9	1.0	2.9	3.7	1.3	1.5	1.5	1.8	1.4	1.0	1.7
(参考) 大阪	29.2	35.9	28.3	49.7	39.8	32.6	38.1	32.2	30.1	36.1	14.0	9.9	14.2	10.3	21.0
(参考) 東京	38.8	40.3	34.4	46.6	40.2	34.2	44.0	49.0	39.2	35.1	35.4	34.7	35.6	37.3	34.3

(注) n 値：日本の地名を知っていると回答した人

国・地域別人気上位 2 観光地を黄色で塗りつぶしている

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

〈参考〉n 値を「岡山を知っている」と回答した人に絞った場合

(単位：%)

	全体	アジア全体	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
n	858	702	79	187	143	56	70	73	37	57	156	37	36	33	50
岡山	27.5	27.2	22.8	26.2	32.2	10.7	25.7	35.6	24.3	33.3	28.8	16.2	22.2	36.4	38.0

出所：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より作成

〈参考〉2021 年調査

(単位：%)

	全体	アジア全体	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
n	5,812	4,036	539	513	513	504	508	492	490	477	1,776	449	458	399	470
岡山	3.6	4.0	5.4	7.0	6.0	0.6	3.0	2.8	2.7	4.0	2.8	2.7	2.8	3.0	2.8
広島	11.3	10.2	9.6	13.8	11.9	5.2	9.8	13.4	10.0	8.0	13.7	14.0	13.5	11.5	15.3
山口	2.6	2.5	2.8	2.3	1.9	2.2	2.6	4.1	1.8	2.5	2.6	3.6	3.7	0.8	2.3
鳥取	2.6	3.2	2.8	4.7	7.2	6.0	2.0	0.6	1.4	1.0	1.0	0.7	1.1	0.3	1.9
松江／出雲／石見	1.7	2.0	3.9	3.3	3.1	0.8	1.8	1.2	0.8	1.0	0.8	0.2	1.1	0.8	1.3
高松／香川	2.5	2.8	4.6	2.9	5.8	1.2	2.2	3.3	0.8	1.3	1.9	2.0	1.7	1.3	2.6
(参考) 大阪	31.1	36.6	31.5	45.8	42.1	30.2	31.9	36.6	37.8	37.5	18.6	14.3	15.1	21.6	23.8
(参考) 東京	43.1	44.5	41.0	47.0	41.3	33.3	43.5	56.5	49.6	44.7	40.0	33.0	43.7	43.1	40.4

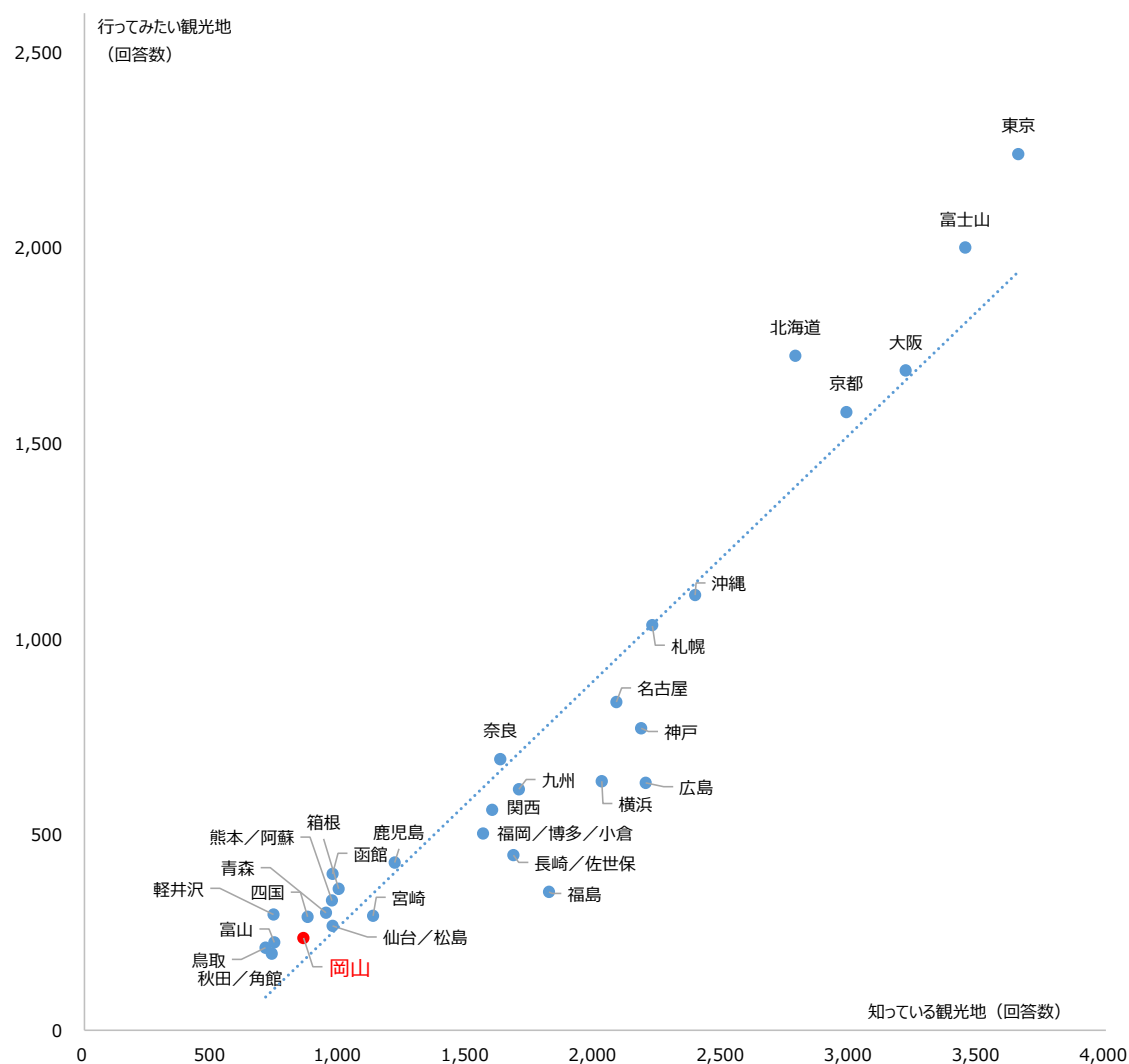
(注) n 値：日本の地名を知っていると回答した人

国・地域別人気上位 2 観光地を黄色で塗りつぶしている

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査「第 3 回新型コロナ影響度特別調査」

観光地 63 カ所のうち、上位 30 観光地を切り出してみたところ、知っている観光地と行ってみたい観光地には相関関係があり、また観光地間の格差が大きく、ゴールデンルート上の観光地が飛び抜けていることが分かった。岡山は認知度、訪問意欲いずれも中位にあり、認知度の向上がさらなる訪問意欲に繋がることが期待される。

【図表 8】認知度・訪問意欲の散布図



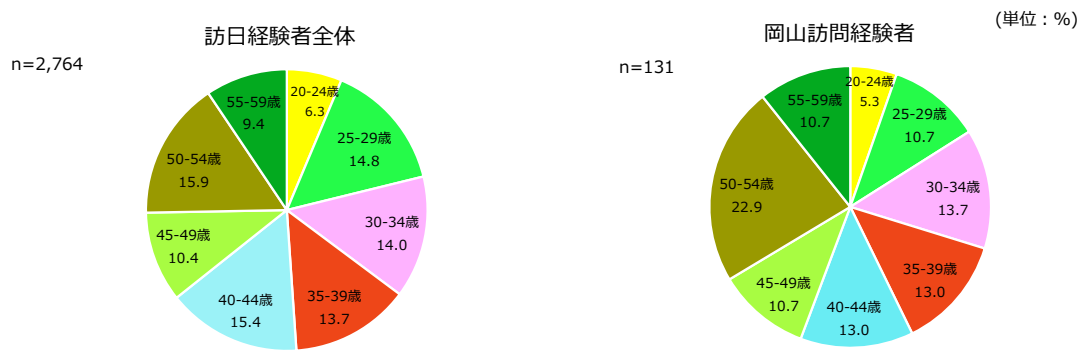
(注) 63 観光地のうち知っていると回答した上位 30 観光地

出所：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より作成

4. 訪日経験者全体・岡山訪問経験者の比較

訪日経験者全体と岡山訪問経験者の属性を比べたところ、岡山訪問者経験者の年齢層のうち 50-54 歳の割合が高くなっているが、そのほかの年齢層に大きな違いは見られなかった。

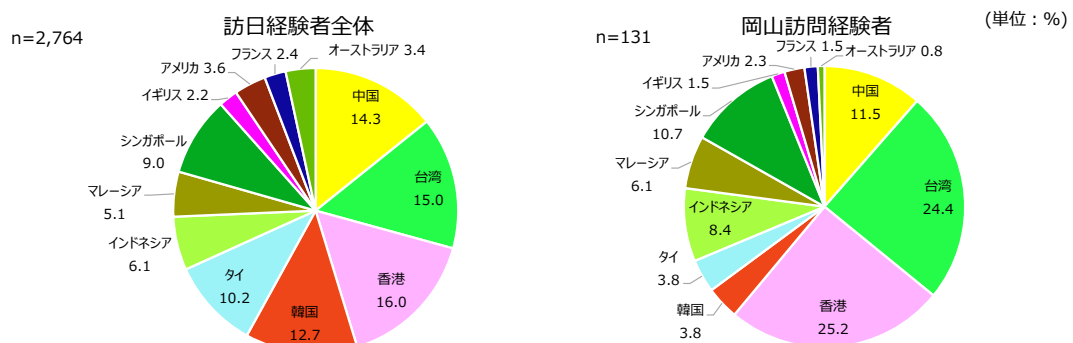
【図表 9】年齢



出所：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より作成

訪日経験者全体と岡山訪問経験者の国・地域別割合を比べたところ、岡山訪問経験者は直行便のある「台湾」、「香港」の割合が高く 2 地域で 5 割近くを占めている。反対に直行便のある「韓国」の割合は低い結果となった。「【図表 7】訪問意欲」に示す通り、同国の岡山に対する訪問意欲がほかのアジア諸国に比べて高くないことや、ビジネスユースやアウトバウンドに合わせた空港のダイヤ設定などが背景にあると推察される。

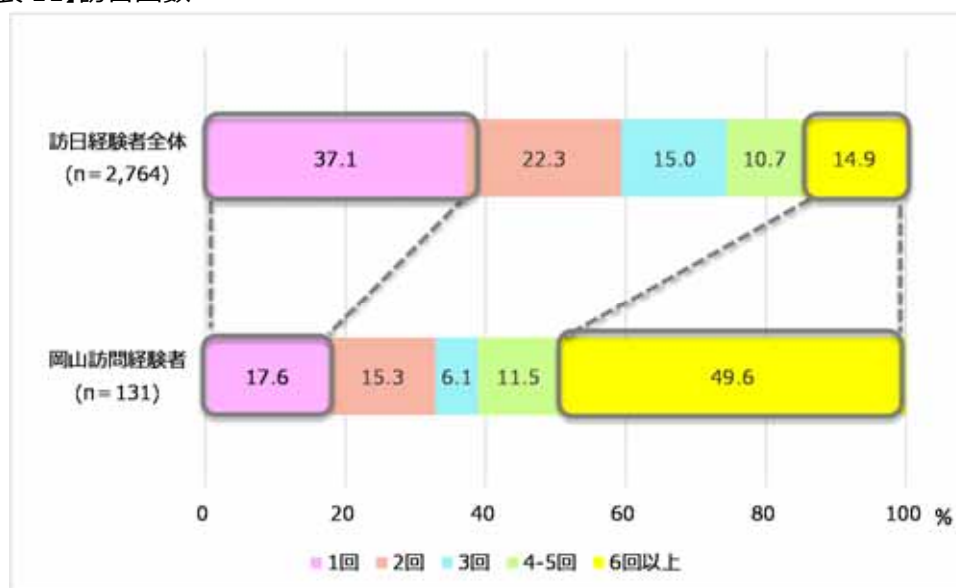
【図表 10】国籍



出所：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より作成

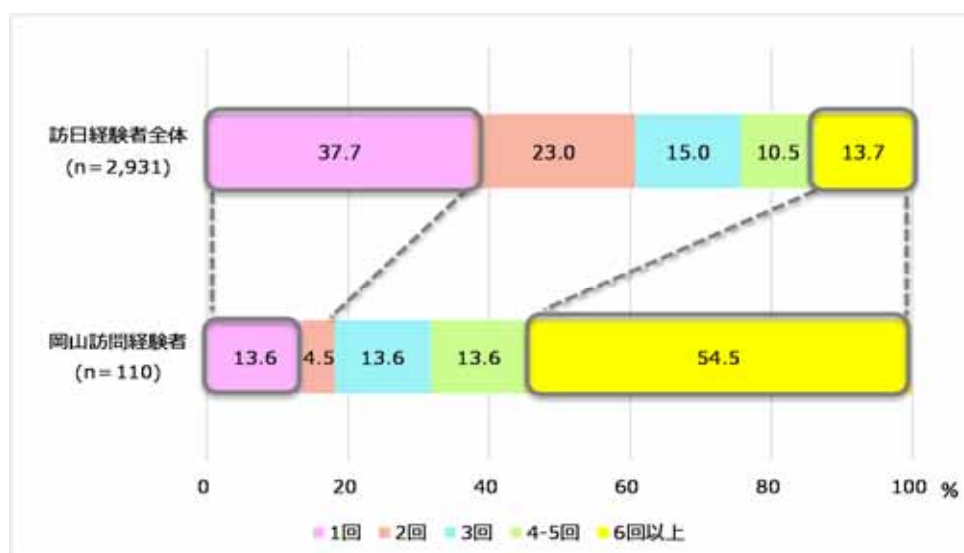
岡山訪問経験者の訪日回数は「6回以上」が多く、5割近くを占めた。一方で、「1回」が17.6%と、訪日経験者全体（37.1%）の半数となっている。また、訪日経験者全体では「1回」を選択する人が最多である。このことから、岡山を訪れる外国人旅行者は、訪日旅行をすでに数回経験した訪日リピーターが中心であることが分かる。

【図表 11】訪日回数



出所：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より作成

〈参考〉2021 年調査



出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査「第3回新型コロナ影響度特別調査」

訪日経験者全体のうち地方訪問を希望している人は、地方観光地を訪れた際にしたいこととして「温泉を楽しむ」が最も多く選択された。次に「自然観光地を訪れる」、「その土地の郷土料理を食べる」となった。こうしたニーズのあるコンテンツを、地域の特性に応じて提供することが、訪日観光客の獲得に繋がると考えられる。

【図表 12】日本の地方観光地を訪れた際にしたいこと（訪日経験者かつ地方訪問希望者）

（単位：％）

	全 体	ア ジ ア 全 体									欧 米 豪 全 体	イ ギ リ ス	ア メ リ カ	フ ラ ン ス	オ ー ス ト ラ リ ア
n	2,463	2,213	379	399	423	269	255	158	122	208	250	46	85	53	66
温泉を楽しむ	52.1	53.8	48.8	54.6	53.0	60.6	50.6	56.3	54.9	55.8	36.4	21.7	38.8	32.1	47.0
自然観光地を訪れる	51.6	52.1	48.0	60.9	42.3	39.8	60.8	52.5	53.3	66.3	48.0	41.3	47.1	41.5	59.1
その土地の郷土料理を食べる	50.8	51.1	30.3	54.6	48.7	49.8	59.2	56.3	63.1	67.8	47.6	41.3	42.4	43.4	62.1
その土地で採れた魚介や肉、野菜や果物を味わう	47.1	47.9	42.7	54.1	48.0	33.5	40.8	53.2	63.1	60.1	40.0	37.0	42.4	26.4	50.0
歴史的な建造物（寺や神社、城など）や遺跡を訪れる	47.1	47.1	36.1	60.4	47.8	36.8	49.8	51.9	50.0	44.7	47.2	54.3	44.7	37.7	53.0
歴史的な街並みを楽しむ	46.3	46.4	35.1	52.1	46.1	44.6	49.0	56.3	48.4	47.1	45.2	39.1	47.1	39.6	51.5
花や紅葉を楽しむ	43.5	45.0	31.9	39.8	53.0	33.8	56.9	52.5	53.3	51.9	30.4	32.6	27.1	26.4	36.4
雪景色を楽しむ	40.6	42.6	28.5	45.9	43.5	27.9	56.9	59.5	48.4	45.7	22.8	15.2	22.4	28.3	24.2
その土地ならではの菓子を購入する	40.4	41.3	30.9	50.9	46.1	37.9	47.1	45.6	32.0	32.2	31.6	28.3	29.4	22.6	43.9
都市部とは違った地方ならではの風景を楽しむ	39.8	40.2	31.1	43.9	40.2	27.9	47.8	49.4	45.9	45.7	36.4	30.4	36.5	39.6	37.9
その土地の伝統芸能や文化を楽しむ	36.8	36.6	31.1	46.6	29.3	21.9	45.5	45.6	44.3	38.9	38.4	32.6	44.7	24.5	45.5
その土地の祭りを楽しむ	35.4	35.3	16.4	42.6	30.7	35.7	40.4	44.3	49.2	43.8	36.0	32.6	41.2	17.0	47.0
その土地で採れた魚介や肉、野菜や果物を買う	29.2	30.0	29.8	37.3	33.3	19.3	22.4	36.7	30.3	27.4	22.0	28.3	28.2	7.5	21.2
その土地で作られた工芸品を購入する	29.1	28.8	29.0	31.1	23.2	21.6	32.2	37.3	36.1	29.8	32.0	32.6	35.3	22.6	34.8
動物や植物を見る	28.7	28.5	27.2	23.8	35.7	16.7	30.6	27.8	34.4	35.1	30.8	37.0	25.9	32.1	31.8
その土地ならではの酒を飲む	27.0	26.8	25.3	27.8	21.5	31.2	28.6	29.7	27.0	27.9	29.2	37.0	34.1	7.5	34.8
地域に住む人々との触れ合いを楽しむ	26.3	25.9	18.5	25.6	23.9	15.2	34.5	45.6	36.9	26.4	30.0	39.1	30.6	11.3	37.9
その土地ならではの酒を購入する	22.5	22.4	25.1	21.3	20.6	20.1	23.9	29.7	20.5	19.7	24.0	26.1	29.4	7.5	28.8
スキーやウィンタースポーツを楽しむ	21.1	21.5	24.0	24.6	22.9	7.4	27.8	28.5	17.2	15.4	17.6	15.2	20.0	5.7	25.8
山登りやハイキングを楽しむ	20.7	20.5	18.7	21.6	20.8	8.2	20.0	31.6	23.8	27.4	22.8	26.1	21.2	18.9	25.8
ドライブを楽しむ	20.3	20.0	19.0	14.0	18.7	12.6	24.3	20.9	32.0	32.7	22.4	17.4	31.8	11.3	22.7
サイクリングを楽しむ	17.7	17.9	17.2	19.8	16.3	3.0	27.8	33.5	17.2	14.4	16.4	26.1	16.5	11.3	13.6

（注）国・地域別の上位 2 項目を黄色でめりつづけている

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

訪日経験者が、地方観光地に滞在中に困ったことについては、「特に困ったことはなかった」と選択した人が3割近くとなった。しかしながら、それ以外の7割以上の人が地方で困った体験があったという結果となった。

アジアでは「多言語表示が少なかったり、わかりにくかった」、欧米豪では「現地のツアーやアクティビティの情報がなかったり、予約が難しかった」などが選択された。また、他の質問では回答が比較的まとまっている中、この質問については国や地域別ごとにばらつきが大きい結果となった。こうしたニーズへの対応にあたってはターゲット層（国別・地域別）の優先順位付けと、地域や施設の特徴を踏まえた、対策の取捨選択が重要と考えられる。

【図表 13】地方観光地滞在中に困ったこと（訪日経験者かつ地方訪問経験者）

(単位：%)

	単位：%														
	全 体	ア ジ ア 全 体									欧 米 豪 全 体	イ ギ リ ス	ア メ リ カ	フ ラ ン ス	オ ー ス ト ラ リ ア
		中 国	台 湾	香 港	韓 国	タイ	インド ネ シア	マ レー シア	シン ガ ポ ール						
n	2,139	1,903	312	289	367	256	237	144	108	190	236	50	78	42	66
特に困ったことはなかった	26.2	25.2	34.9	18.3	22.9	25.8	23.6	25.0	28.7	23.2	34.3	26.0	34.6	40.5	36.4
多言語表示が少なかったり、わかりにくかった	25.4	26.6	19.6	26.6	25.6	28.1	31.2	35.4	29.6	23.7	16.1	18.0	20.5	11.9	12.1
無料公衆無線LAN環境（Wi-Fi）が整っていなかった	19.5	20.6	17.0	25.3	16.1	22.7	21.9	18.8	18.5	26.3	11.0	12.0	10.3	9.5	12.1
公共交通がなかったり、便数が少なかった	18.1	18.6	9.9	32.5	20.7	11.7	21.5	20.8	16.7	12.6	14.0	14.0	12.8	19.0	12.1
飲食店やホテルなどの施設のスタッフとコミュニケーションが取れなかった	17.7	18.1	14.1	17.6	15.3	16.0	26.2	20.1	19.4	21.1	14.4	16.0	7.7	21.4	16.7
目的地までの経路の情報がなかったり、わかりにくかった	17.2	17.3	16.3	19.4	14.2	11.3	22.4	16.7	19.4	23.2	16.1	20.0	11.5	16.7	18.2
トラブル時（災害・けが・病気）の外国人対応がなかったり、不十分だった	16.3	16.4	20.5	23.5	11.2	16.8	17.7	13.9	11.1	12.1	14.8	22.0	15.4	11.9	10.6
ゴミ箱が少なかった	15.8	16.9	9.3	16.3	31.6	9.0	11.8	10.4	13.9	25.3	6.8	10.0	6.4	4.8	6.1
キャッシュレス決済（クレジットカード等の利用）ができなかった	15.5	15.9	17.6	16.3	10.1	23.0	15.6	13.9	18.5	14.2	12.7	24.0	11.5	14.3	4.5
夜、楽しめる場所がなかった	13.3	13.7	6.7	22.5	15.0	16.4	8.0	10.4	21.3	10.5	10.6	14.0	9.0	7.1	12.1
宿泊施設や飲食店の情報がなかったり、予約が難しかった	12.5	12.6	11.5	11.4	10.4	10.2	18.1	13.2	16.7	14.2	11.9	14.0	10.3	9.5	13.6
トイレが少なかったり、使い方が分からなかった	12.2	12.0	9.6	11.8	9.0	11.3	15.2	18.1	18.5	10.5	13.6	18.0	11.5	9.5	15.2
現地のツアーやアクティビティの情報がなかったり、予約が難しかった	11.8	11.2	11.9	13.8	7.4	9.4	13.9	13.9	13.9	8.9	16.5	12.0	23.1	19.0	10.6
タトゥーを理由に温泉やプール等を利用できなかった	7.4	6.8	9.0	5.2	4.4	3.1	7.2	9.7	14.8	8.4	11.9	16.0	9.0	11.9	12.1
その他	0.7	0.8	0.0	0.7	0.3	2.3	0.4	1.4	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

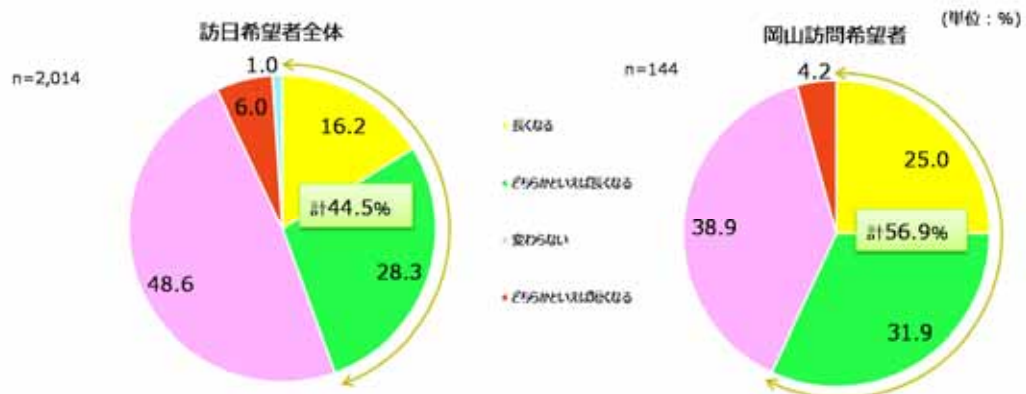
(注) 国・地域別の上位2項目を黄色で塗りつぶしている

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

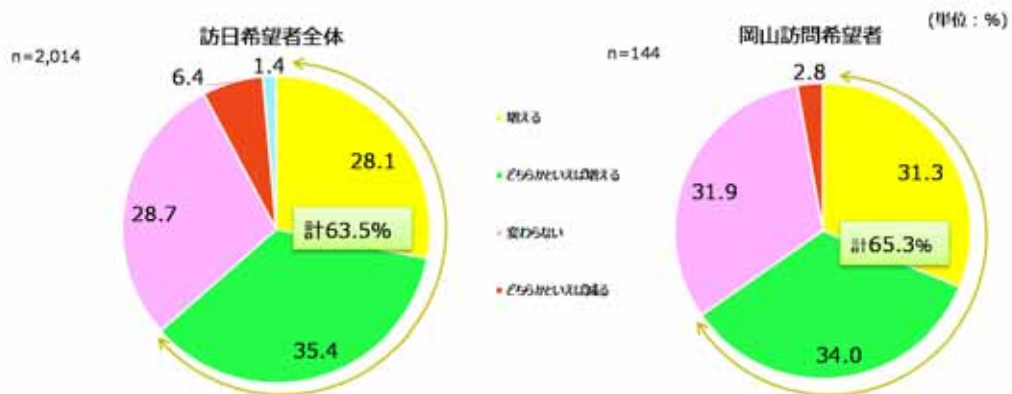
5. 訪日希望者全体・岡山訪問希望者の比較

訪日希望者を対象に、次の海外旅行時の「滞在日数」、「旅行予算」の変化について尋ねたところ、滞在日数が「長くなる」、「どちらかといえば長くなる」を選択したのは、訪日希望者全体では44.5%、岡山訪問希望者では56.9%となった。また、予算についても、「増える」、「どちらかといえば増える」を選択したのは訪日希望者全体では63.5%、岡山訪問希望者では65.3%となった（【図表4・5】海外旅行希望者と同様の傾向が認められる）。

【図表 14】滞在日数の変化



【図表 15】予算の変化



(注) n 値:

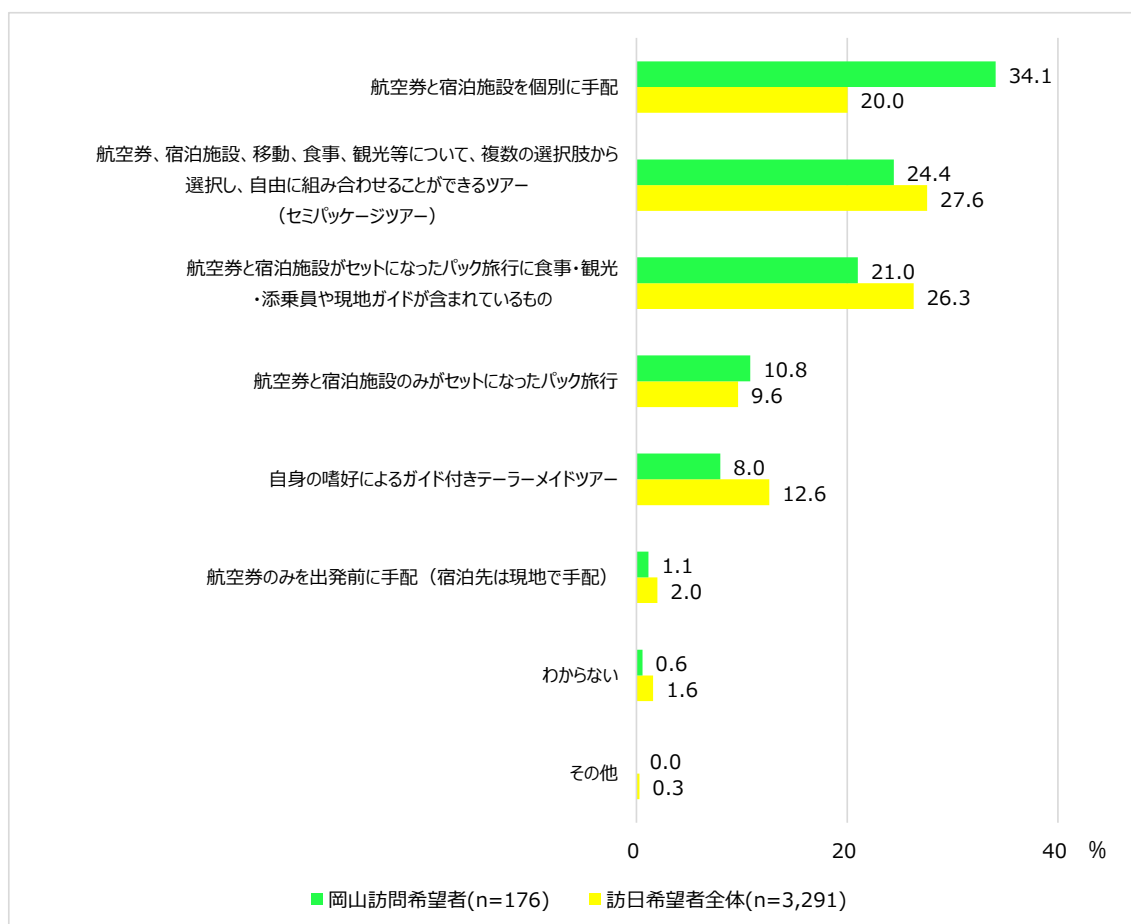
2019 年 7 月から 2022 年 6 月の間に海外旅行を実施しておらず、かつ、今後の海外旅行実施意向がある人のうち、日本に訪問意欲がある人数 (左図)

2019 年 7 月から 2022 年 6 月の間に海外旅行を実施しておらず、かつ、今後の海外旅行実施意向がある人のうち、岡山に訪問意欲がある人数 (右図)

出所: 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より作成

観光目的で訪日する際に希望する旅行形態は、岡山訪問希望者は「航空券と宿泊施設を個別に手配」、訪日希望者全体は「セミパック旅行（セミパッケージツアー）」、「パック旅行」の選択率が高い結果となった。岡山訪問希望者の方が個別に手配する選択率が高い理由として、訪れる人の多くが旅慣れた訪日リピーターであり、自由度の高い旅行を好むことや、希望する訪問地を含むパック旅行が少なく、結果として自由旅行になる、という2通りが考えられる。

【図表 16】訪日旅行の際希望する旅行形態



（注）岡山訪問希望者の n 値：「【図表 3】次に観光旅行したい国・地域」日本を選択、かつ「岡山」に訪問したいと選択した人数

訪日希望者全体の n 値：「【図表 3】次に観光旅行したい国・地域」で日本を選択した人数

出所：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より作成

観光目的で訪日する際に希望する宿泊施設について、「温泉のある日本旅館」の選択率が高く、特にアジアでは7割となった。欧米豪では「温泉のある日本旅館」の選択率は4割程度に留まっており、半数の人は「豪華で快適なホテル(西洋式)」を希望している。

【図表 17】宿泊希望施設（訪日希望者全体）

(単位：%)

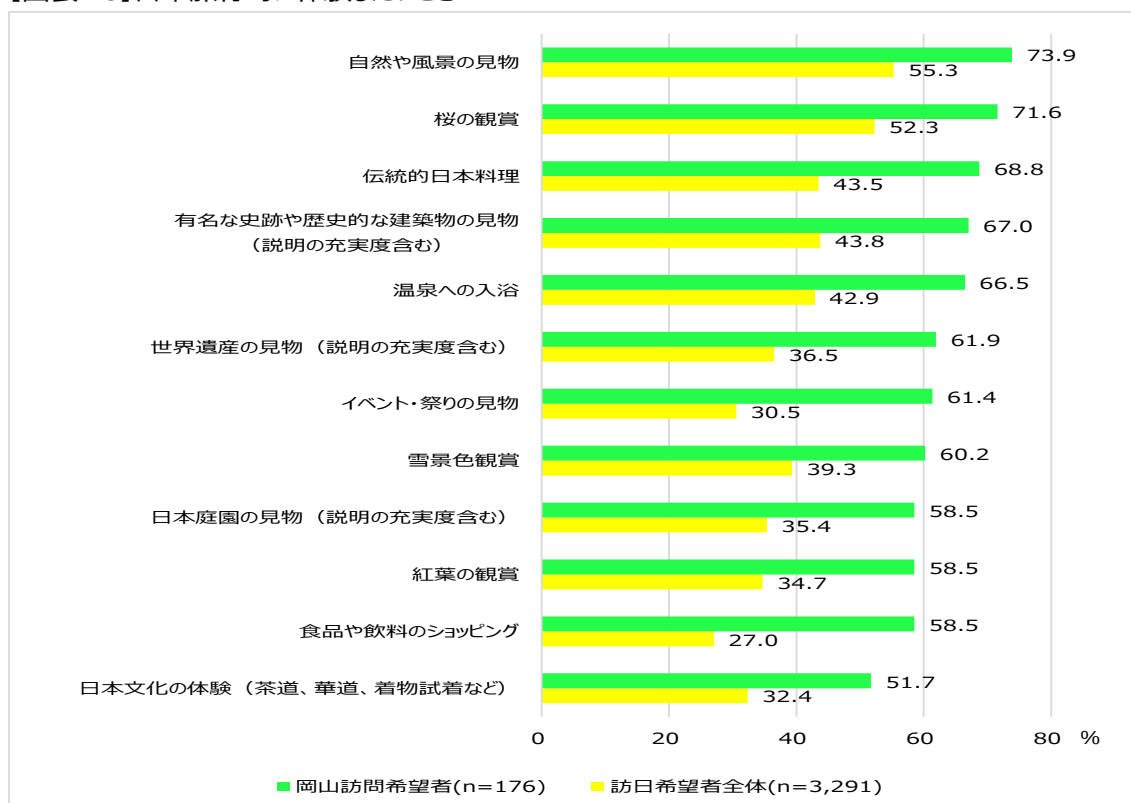
	全 体	ア ジ ア 全 体									欧 米 豪 全 体				
		中 国	台 湾	香 港	韓 国	タ イ	イ ン ド ネ シ ア	マ レ ー シ ア	シ ン ガ ポ ー ル	イ ギ リ ス		ア メ リ カ	フ ラ ン ス	オ ー ス ト ラ リ ア	
n	3,291	2,686	346	404	437	179	379	322	314	305	605	163	161	121	160
温泉のある日本旅館	65.1	70.4	75.4	72.3	73.9	64.2	69.1	73.3	64.6	65.6	41.3	40.5	44.1	37.2	42.5
豪華で快適なホテル（西洋式）	42.1	39.5	60.1	50.0	41.9	49.7	30.6	18.3	26.1	40.0	53.4	60.7	57.1	37.2	54.4
基本的な設備のみが備わっている ホテル（西洋式）	32.5	32.4	19.7	36.6	31.4	31.8	39.1	23.3	38.9	38.0	32.6	30.1	29.8	29.8	40.0
日本旅館（温泉なし）	25.8	27.3	36.7	31.4	33.0	17.9	26.9	20.2	22.0	21.6	19.3	16.0	18.6	18.2	24.4
現地の人から有料で借りる家・ア パート	20.4	20.5	19.9	11.6	13.5	11.2	21.6	34.5	29.0	23.6	19.7	14.1	16.8	30.6	20.0
ユースホステル・ゲストハウス	15.6	16.8	23.4	15.3	8.9	15.1	11.6	28.3	20.4	13.8	10.4	6.7	12.4	10.7	11.9
親戚・知人宅	3.7	3.6	1.7	3.0	1.6	3.9	5.3	7.5	3.8	3.3	4.0	3.7	6.8	0.8	3.8
その他	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.6	0.0	0.0	0.3	1.0	0.2	0.0	0.6	0.0	0.0

(注) 国・地域別の上位2項目を黄色で塗りつぶしている

出所：DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版

岡山訪問希望者・訪日希望者全体いずれも、日本旅行時に体験したいことは、「自然や風景の見物」、「桜の鑑賞」、「伝統的日本料理」などの選択率が高い。「【図表 12】の地方観光地を訪れた際にしたいこと」でも「温泉を楽しむ」、「自然観光地を訪れる」、「その土地の郷土料理を食べる」の順で選択されているが、岡山の観光資源は、こうした人気の「体験」を提供できる可能性が十分にある。岡山でのインバウンド観光の獲得にあたっては、これらのニーズを起点とし、地域・施設に適した観光資源の利活用・拡充に取り組むことが肝要と考えられる。

【図表 18】日本旅行時に体験したいこと



(注) 35 の選択肢のうち、回答の多い各上位 10 項目を並べたものである

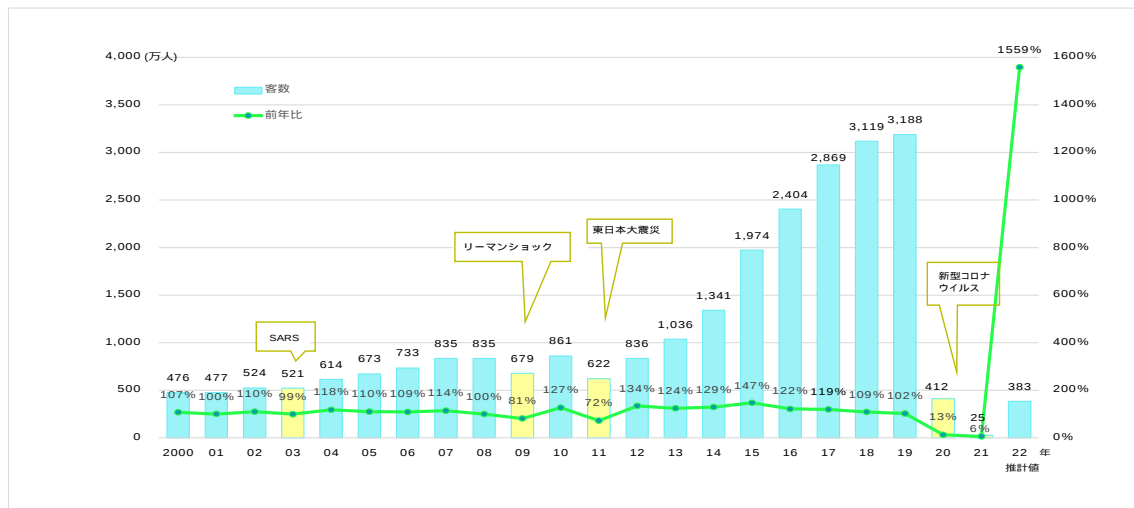
出所：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版」より作成

Ⅱ 他調査からみる岡山インバウンド戦略への示唆

1. 訪日外国人客数推移

日本政府観光局（JNTO）の統計によると 2022 年に全国を訪れた訪日外国人客数は 383 万人（上半期 507,630 人、下半期 3,324,267 人）となった。前年比 1559%、コロナ発生以前の 2019 年と比べると 88%減である。2022 年の上半期は、一部の拠点空港（成田国際空港・関西国際空港）で限定的な訪日外国人の受け入れに留まっていたが、下半期は 10 月に訪日外国人に対する新規入国制限が解除（上限撤廃）され、個人旅行も解禁されたことで、訪日外国人客数に回復が見られた。

【図表 19】訪日外国人客数の推移

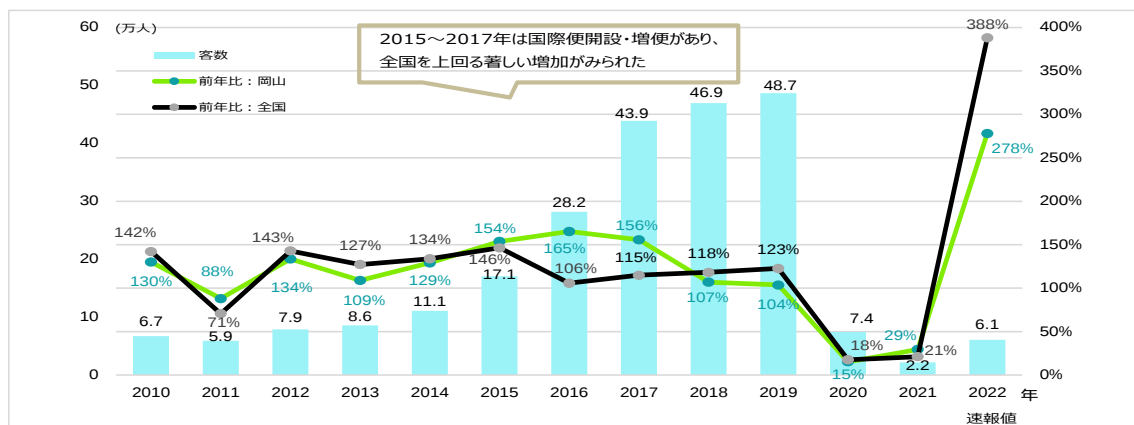


出所：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数の動向」

2. 宿泊

2022 年の岡山県の外国人延べ宿泊者数は、約 6 万人、前年比 278%となった。一方で、2019 年と比べると 87%減となっており、低い水準が続いている。

【図表 20】岡山県の外国人延べ宿泊者数の推移

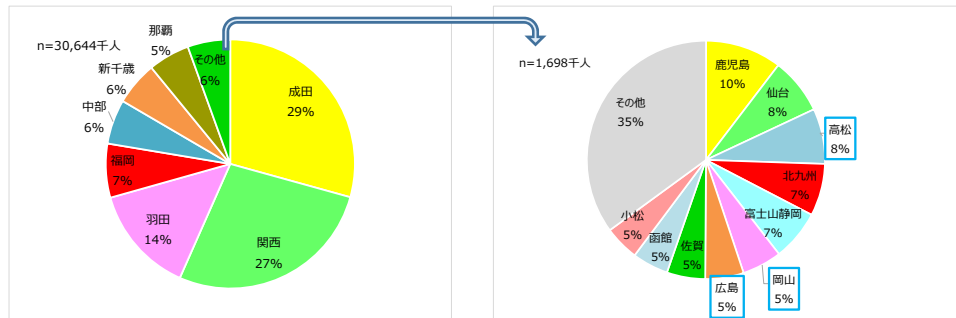


出所：観光庁「宿泊旅行統計」

3. 空港

2019 年（コロナ前）に訪日外国人が入国時に利用した空港は、成田・関西で 5 割を超えている。東は東京、西は大阪から入国して旅をスタートする人が多い。岡山空港は「その他 6%」内での利用に留まっている。

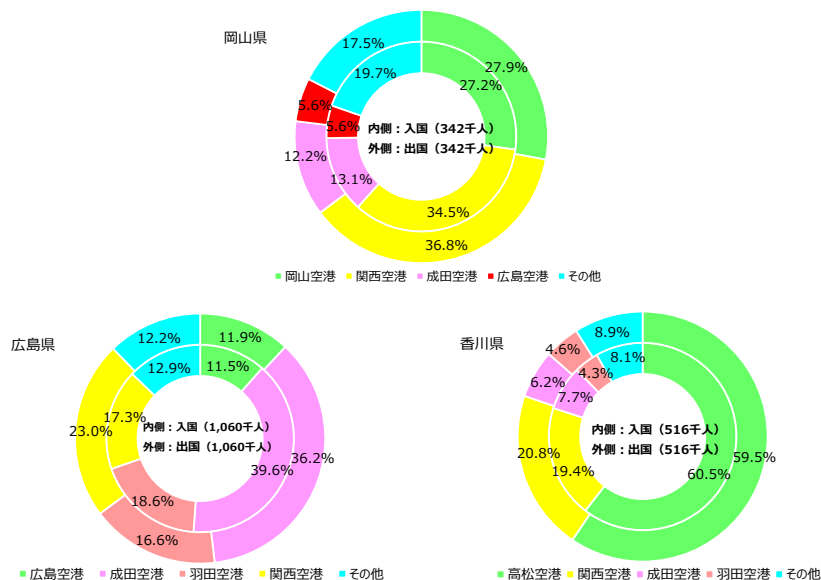
【図表 21】外国人入国利用空港（2019 年）



出所：国土交通省「空港管理状況調査」より作成

岡山県、広島県、香川県の各県を訪れた訪日外国人の入出国空港の内訳を比較すると、岡山県を訪れた人は、岡山空港を利用している割合が約 3 割あり、広島県を訪れた人が広島空港を利用している割合は約 1 割となっている。香川県を訪れた人は、約 6 割が高松空港を利用しており、岡山県や広島県と比べると際立っている。

【図表 22】岡山県・広島県・香川県入出国数空港（2019 年）



（注）都道府県ごとの訪問者数について、同一人物が 1 回の旅行で複数回同一都道府県を訪れた場合、重複カウントとして訪問者数を集計している。

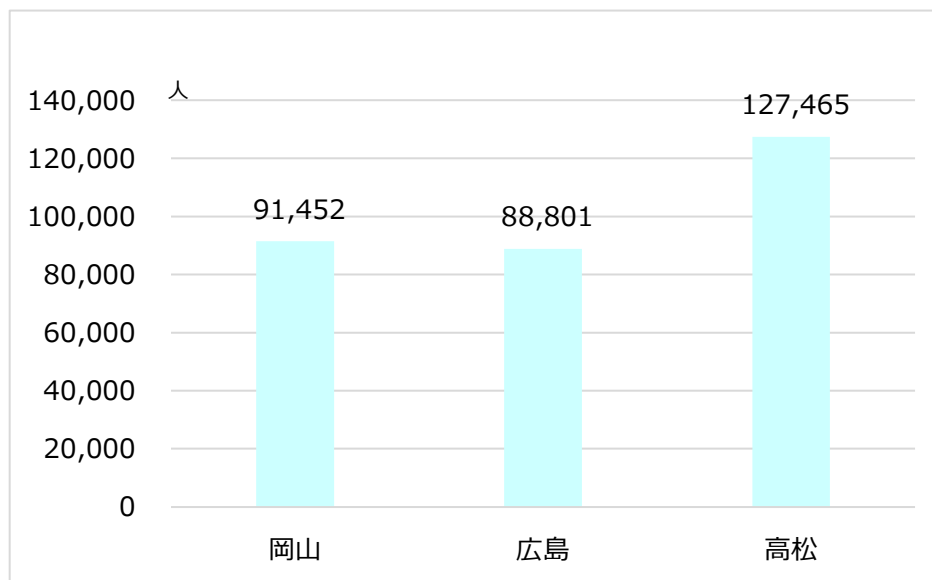
第 1 四半期・第 2 四半期に調査が実施されていない場合、入出国空港内訳に調査対象外の空港は表示されない。調査対象空港一覧を参照の上、四半期ごとの調査対象空港が異なる点に注意が必要。

四半期別の合計値は必ずしも年間値と一致しない。

出所：RESAS、国土交通省「FF-Data（訪日外国人流動データ）」より作成

次に、2019 年（コロナ前）の岡山空港、広島空港、高松空港の外国人入国者数を比べたところ、乗降客数は高松空港が多く、次いで岡山空港、広島空港の順になった。

【図表 23】岡山・広島・高松空港の外国人入国者数（2019 年）



出所：国土交通省「空港管理状況調査」

また、各空港の国際線の便数はほぼ同数であり、岡山空港は地方管理空港でありながら、空港インフラとして遜色ないことが確認される。岡山空港は、広島空港と並んで中四国最長の3,000m滑走路を擁し、中大型旅客機がアメリカやヨーロッパに直行便で就航できる能力を有している。加えて、国内最大規模の無料駐車場を備え、高速道路による周遊性も抜群であることは大きな強みであり、一層の利活用が期待される。

【図表 24】岡山・広島・高松空港一覧

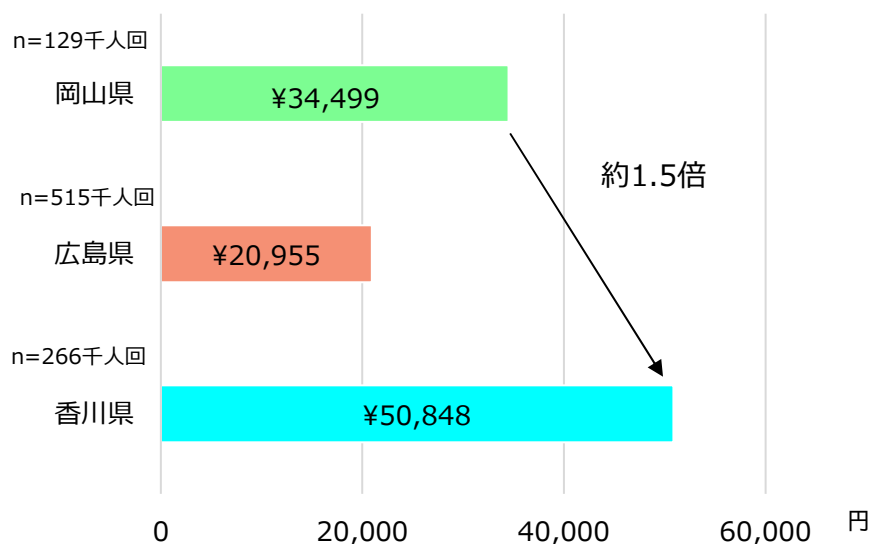
空 港	岡山	広島	高松
種 別	地方管理空港	国土交通大臣	国土交通大臣
滑走路(m)	3,000×45	3,000×60	2,500×60
駐車場台数(台)	無料2,885 有料296	有料3,172 (30分無料)	有料1,543 (1時間無料)
国際線就航路線（2019年夏ダイヤによる）			
台北	7	7	7
ソウル	7	3	7
上海	7	7	5
香港	2	3	4
シンガポール		3	
北京		5（大連経由）	
便数（週）	23	28	23

出所：各空港 HP より作成

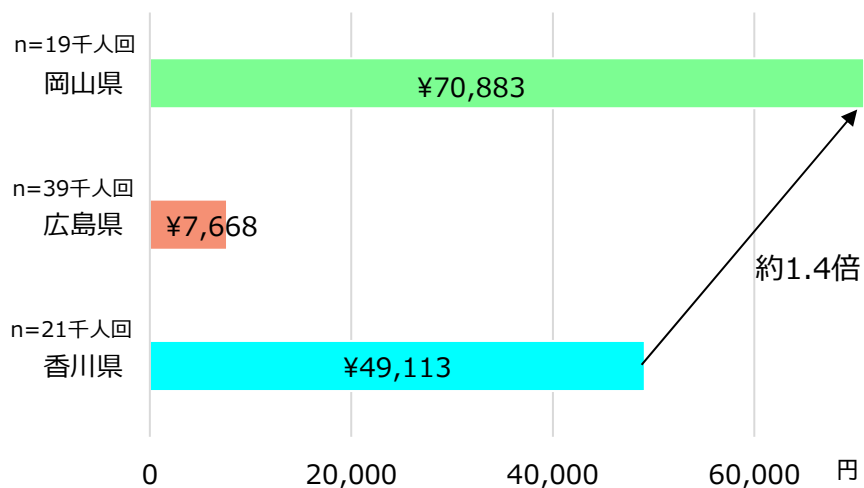
4. 消費額

2019 年（コロナ前）の外国人宿泊客の観光消費額単価（1 人 1 回当たり）は、香川県、岡山県、広島県の順となっている。「【図表 22】入出国数空港比較」に示す通り、目的地にある地方空港から直接入出国する割合の高い観光地が、消費額単価も高いことが確認された。今後、岡山での消費額単価を引き上げるための施策として、岡山空港から直接の入出国の獲得（増加）によって、岡山県内での滞在時間を長く保ち、宿泊や土産購入などインバウンド消費に繋げることが重要と考えられる。

【図表 25】岡山・広島・香川県、外国人観光目的宿泊客消費額単価（2019 年）



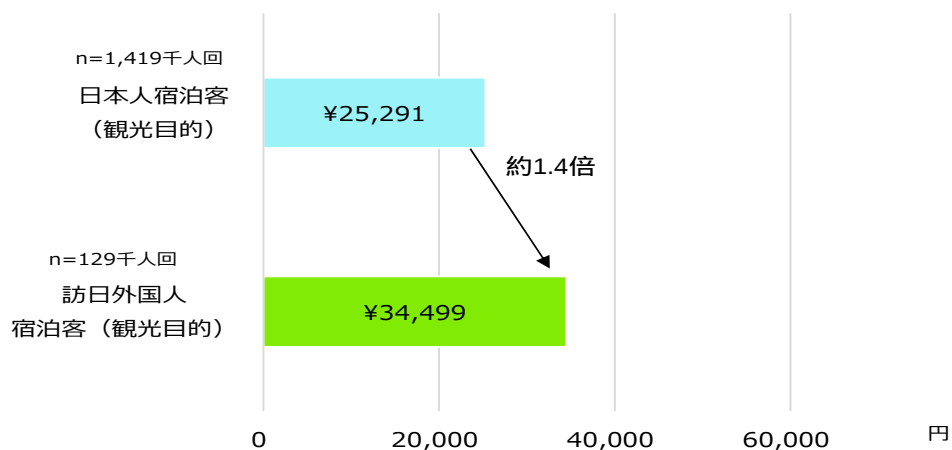
〈参考〉2020 年（入出国者が少ないため参考値として掲載）



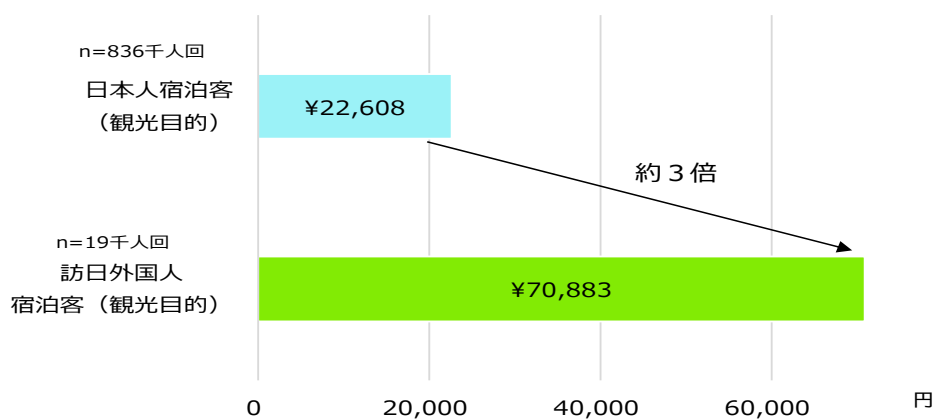
出所：観光庁「共通基準による観光入込客統計」

なお、2019 年の岡山県における宿泊客の観光消費額単価（1 人 1 回当たり）は、母数に違いがあるものの、訪日外国人宿泊者の方が日本人宿泊客よりも高い（約 1.4 倍）ことが確認された。

【図表 26】岡山県観光消費額単価（2019 年）



〈参考〉2020 年（入出国者が少ないため参考値として掲載）



出所：観光庁「共通基準による観光入込客統計」

5. 直島の事例（直島を訪れる訪日外国人旅行者の実態調査より）

岡山空港のポテンシャルを見通す上で、「直島」との関係性（と可能性）について考えたい。当行レポート「直島を訪れる訪日外国人旅行者の実態調査～ 瀬戸内国際芸術祭のインバウンドデータを読み解く～」(四国支店)によると、2019年の瀬戸内国際芸術祭会期中に直島町を訪れた訪日外国人旅行者が直前直後に滞在した都道府県は、岡山県が1位である。これは直島町が所在する香川県を上回っている。また、市町村別では岡山市北区、玉野市がそれぞれ1位と3位となっており、「直島」を目的としている約3割の人が岡山県を經由していることが確認された。このことから、瀬戸内観光において、岡山空港からの入出国が選択肢の一つになると考えられる。

【図表 27】直島町を訪れる訪日外国人旅行者の直前直後の滞在地（都道府県・市町村別）



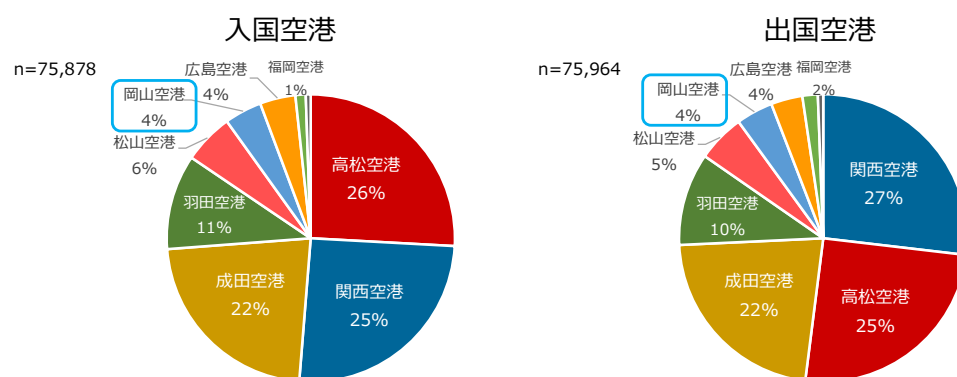
期間：2019年5月、8月、10月を抽出

データ提供元：(株)ナビタイムジャパン

ナビタイムジャパンインバウンドGPSデータに関して、滞在の定義は2時間以上としている
(モバイル空間統計(R)と整合を図ったカスタム集計とするため)

しかしながら、直島町を訪れた訪日外国人旅行者の入出国空港を見ると、高松空港・関西国際空港からの入出国が過半を占めた一方、岡山空港からの入出国はわずか 4%であることが確認された。直島へは、岡山空港・高松空港いずれも 2 時間程度の移動時間であり、岡山側（宇野港）からのフェリー便数が約 2 倍と多いことに鑑みれば、瀬戸内国際芸術祭における岡山空港の利活用の余地は大きいものと考えられる。「【図表 27】直島町を訪れる訪日外国人旅行者の直前直後の滞在地」に示す通り、岡山県は瀬戸内観光の経由地としては利用されていることから、岡山県内での宿泊や観光を伴った長期滞在によるインバウンド消費に繋げる上で、岡山空港の一層の利用促進が期待される。

【図表 28】直島町を訪れる訪日外国人旅行者の入出国空港



期間：2019 年 3 月 1 日～2019 年 11 月 30 日

旅行客数：時間区分なく2時間以上滞在した人数

宿泊客数：2～5時（深夜帯）に2時間以上滞在した人数、日帰り客数：旅行客数から宿泊客数を除いた人数

※集計方式：期間ユニーク(同一エリアにおいて、滞在期間に関わらず1人と集計)

データ提供元：(株)ドコモ・インサイトマーケティング/モバイル空間統計

モバイル空間統計は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

※【図表 27、28】は DBJ 四国支店「直島を訪れる訪日外国人旅行者の実態調査～瀬戸内国際芸術のインバウンドデータを読み解く～」より抜粋

6. おわりに

2022 年 10 月から、訪日外国人の入国制限の見直しが行われ、海外からの個人旅行が 2 年半ぶりに解禁となった。岡山空港は、2023 年 3 月 26 日から国際線の再開が公表されており、これは、全国 54 カ所ある地方管理空港の中で最も早い再開である。第 1 弾としてコロナ前に年間 10 万人の利用客数を誇った台北線が再開され、準備が整い次第、ソウル線・香港線・上海線の再開が見込まれ、加えてタイ線の新規開設も検討されている。今後、岡山に訪日外国人旅行者を呼び込み、インバウンド消費を獲得するための方策として、岡山空港の一段の利用促進が期待される。

政府が訪日客数の過去最多を目指すとしている 2025 年は、瀬戸内国際芸術祭に加えて大阪・関西万博も開催され、地域のビッグイベントは岡山インバウンド観光における絶好の機会となる。本レポートにおいて、世界各国の海外旅行経験者の意識調査に加えて、岡山空港のポテンシャル、地方空港における訪日外国人旅行者の入出国と消費額単価の関係、「直島」における訪日外国人の動線調査と岡山空港の利活用余地について述べた。

瀬戸内や関西など訴求力のあるコンテンツを岡山でのインバウンド観光に繋げるためにも、岡山エリア限定のプロモーションに留まることなく、広域視点を持って、交通の結節点である岡山、海外からの玄関口としての岡山空港をハブとした、インバウンド戦略に期待したい。



©Development Bank of Japan Inc.2023

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

〈お問い合わせ先〉

株式会社日本政策投資銀行 岡山事務所

〒700-0821 岡山市北区中山下 1-8-45 N T T クレド岡山ビル

TEL : 086-227-4311 FAX : 086-221-2504